

講演番号 講演題目

口頭発表

A会場

11月20日 午前

- A01 三宅島・神津島近海の地震活動
- A02 2000年三宅島・新島・神津島近海の群発地震活動
- A03 震源パラメーター、地震活動からみた伊豆諸島中部群発地震活動の
- A04 三宅島・神津島近海群発地震活動域における起震応力場の詳細解析
- A05 三宅島・神津島・新島近海で発生した群発地震の モーメントテンソル
- A06 2000年伊豆諸島群発地震活動にみられる地震のトリガリング
- A07 2000年三宅島・神津島における地殻活動と推定されるダイク貫入・ク
- A08 神津島における地殻傾斜の連続観測結果
- A09 2000年三宅島・新島・神津島近海におけるダイクの貫入モデル
- A10 三宅島から新島・神津島近海の地震火山活動に伴う東海・南関東地
- A11 地殻変動からみた2000年三宅島火山の噴火とそれに至る過程

11月20日 午後

- A12 2000年三宅島噴火：マグマはどのように噴火を起こしたか
- A13 地殻変動・地震観測により把握された2000年三宅島噴火活動の推移
- A14 GPS精密観測網でとらえた三宅島火山2000年マグマ貫入事件前後の
- A15 三宅島における地殻変動—大学、国土地理院、防災科学技術研究所
- A16 2000年の三宅島噴火に伴う傾斜変動—ステップ状変動及び噴火前
- A17 重力の時空間変動からよみとる三宅島火山活動の推移(その1)—陥
- A18 重力の時空間変動からよみとる三宅島火山活動の推移(その2)—陥
- A19 2000年三宅島火山活動に伴う様々な地震のメカニズムとその解釈
- A20 2000年三宅島噴火に伴う火山性地震・火山性微動とその発生機構
- A21 長周期地震波から推定される三宅島火山活動のモデル(1):50秒パ
- A22 長周期地震波から推定される三宅島火山活動のモデル(2):雄山陥
- A23 地震発生帯高精度イメージング—2000年千島海溝深部構造探査
- A24 北海道東部における深部地殻構造探査
- A25 北海道日高衝帯前縁部における深部地殻反射法地震探査(中間報
- A26 コーダ波エンベロープ強度から推定される日高地方の3次元微細不均
- A27 石狩低地東縁断層帯・馬追丘陵を横切る反射法地震探査(中間報告)
- A28 有珠火山周辺域の不均質構造と震源分布
- A29 1993年北海道南西沖地震の震源域でのP波速度トモグラフィ

11月21日 午前

- A30 反射法地震探査による秋田県由利丘陵下の地殻構造
- A31 アレイ地震観測による長町—利府断層直下の不均質構造の推定
- A32 中部地方における活断層と地殻構造の関係
- A33 重力データに基づく堆積平野の3次元多層モデル解析の試み —一濃
- A34 中国・四国地方の地殻構造—走時とプーゲー異常データを用いた解
- A35 A deep strong reflector of the Nankai accretionary wedge from multi
- A36 雲仙火山における反射面の検出
- A37 熊本県中部・日奈久断層周辺に見られる地殻内地震波反射面
- A38 JUNEC データを用いた日本列島の Qs 構造
- A39 Attenuation of High-frequency P and S Waves in the Crust of the Y
- A40 島弧におけるモホ面近傍の微細構造の研究(その2)
- A41 Identification of an anomalous rock body in Southern Spain from sei
- A42 Synthesis of seismic waveform: Inference of relationship between w
- A43 異方性鉱物を含む岩石の地震波速度異方性の特徴

11月21日 午後

- A44 サイレント地震と準備過程
- A45 海底地震観測による日本海溝沈み込み帯におけるプレート境界地震
- A46 海底地震観測から分かった1968年十勝沖、1994年三陸はるか沖地
- A47 東北日本弧に発生する相似地震群の時空間分布
- A48 北緯31°伊豆・小笠原海溝における蛇紋岩化したマントルと沈み込み
- A49 東海地域における地殻変動の時間的ゆらぎとプレートカップリング
- A50 東海地域推定固着域における地震活動状況の変化(その2)
- A51 海山の沈み込みがプレート境界地震の発生過程に与える影響 ~19
- A52 Hierarchical preparation of earthquake: an experimental study
- A53 野島断層における繰り返し注水試験—断層回復過程および誘発地
- A54 2000年野島断層注水実験に伴う極微小誘発地震活動(2)
- A55 野島断層繰り返し注水実験による誘発地震のトラップ波観測
- A56 野島注水実験における繰り返し自然電位観測
- A57 1970年秋田県南東部地震における前兆的地殻変動
- A58 M2予想震源断層上での石井式ボアホール歪計による25Hz24bit連続
- A59 地震に先行する応力低下—南アフリカ金鉱山における半制御地震
- A60 1999年台湾集集地震震源域の地殻構造
- A61 地震場の監視観測:できる地震予知を考える

11月22日 午前

- A62 強震動予測と地震防災:地震学の成果の社会への出口はあるのか?
- A63 21世紀の地震学が防災・減災に役立つための条件—純粋理学だけに
- A64 災害科学としての地震学のあり方—大災害を未然に防ぐ批判精神を
- 討論
- A65 21世紀の地震学が目指すもの:大規模複雑系の予測科学としての地
- A66 予測科学としての地震学に必要なもの—モニタリングとモデリングの統
- A67 超薄膜水の力学・電磁気物性と地震の発生・予知—ここ始めと新たな
- 討論
- A68 21世紀の地震学が目指すもの:地球内部ダイナミクスと地震学
- A69 地球規模の標準マントルダイナミクスモデルと地球深部の地震学的構
- 総合討論

11月22日 午後

- A70 S波バイプレートによる表層地盤の非線型挙動の原位置計測
- A71 濃尾平野東端で発生した2次生成表面波の伝播特性
- A72 大阪平野におけるPS変換波の検出
- A73 北摂地域における地下構造の推定と地震動アレイ観測
- A74 高密度強震計ネットワークを活用した平野部地下構造解析(5):最近

著者氏名・所属(漢字表記)

- 酒井慎一、山田知朗、井出哲、卜部卓、塩原肇、平田直、篠原雅尚、金沢敏彦、萩原弘子、
- 高山博之・吉田明夫(気象研)
- 井出哲、植田寛子、武尾実(東京大学地震研究所)
- 青木元・吉田明夫(気象研)
- 福山英一・久保篤規(防災科研)
- 遠田晋次(東大地震研)・鷲谷 威(国土地理院)
- 木股文昭・山岡耕春・藤井直之(名大院理)
- 山本英二・大久保正・岡田義光(防災科研)
- 伊藤武男(京都大学防災研地震予知研究センター)、吉岡祥一(九州大学大学院理学研究院)
- 小林昭夫・山本剛晴・吉川澄夫・吉田明夫(気象研究所)・露木貴裕・小山卓三(気象庁)
- 山科健一郎(東大地震研)
- 井田喜明(東大地震研)
- 鶴川元雄・藤田英輔・山本英二・岡田義光(防災科研)・菊池昌江(地震予知振興会)
- 三宅島火山総合観測班(GPS観測グループ) [発表者: 及川 純(東大・地震研)]
- 中尾茂(東大地震研)・飯屋新一(名古屋大), 及川純(東大地震研), 渡辺秀文(東大地震
- 山本英二・藤田英輔・鶴川元雄(防災科研)・菊池昌江(地震予知振興会)
- 古屋正人・大久保修平・渡辺秀文・及川純(東大地震研)・前川徳光・大島弘光(北大理)・松本
- 大久保修平・古屋正人・孫文科・田中愛幸・渡辺秀文・及川純(東大地震研)・前川徳光・大島
- 菊池正幸・山中佳子(地震研)
- 藤田英輔・鶴川元雄・山本英二・岡田義光(防災科研)・菊池昌江(地震予知振興会)
- 熊谷博之(防災科研)・大湊隆雄(東大震研)・中野優(名大工)・大井昌弘・久保篤規・井上公(防
- 大湊隆雄(地震研究所)・熊谷博之(防災科研)
- 千島海溝海陸海陸境界深部構造探査研究グループ(海洋科学技術センター、東京大学地震研
- 蔵下英司・岩崎貴哉・平田直(東大地震研)・金田義行(海技センター)・大西正純・井川 猛(地
- 岩崎貴哉・佐藤比呂志・平田直・蔵下英司・中川茂樹(東大・地震研)、森谷武男、在田一則(
- 平貴昭・蓬田清(北大・理)
- 加藤直子・佐藤比呂志(東大震研)・松多信尚(東大理)・平川一臣(北大)・越谷 信(岩手大)
- 根岸弘明・堀内茂木(防災科学技術研究所)
- 高波鐵夫・村井芳夫・塩原肇・小平秀一・島村英紀(北大理)、日野亮太(東北理)、金沢敏彦
- 佐藤比呂志・岩崎貴哉・平田直(東大震研)・池田安隆(東大理)・長谷川 昭・海野徳仁・吉
- 浅野陽一・海野徳仁・岡田知己・堀修一郎・長谷川昭(東北大学大学院理学研究科地震・噴
- 小野 剛(愛媛大学)・趙 大鵬(愛媛大学)
- 野崎京三・松澤 宏・馬場千児・岩本鋼司(応用地質)・志知龍一(中部大学)
- 福永真理子・小田仁(岡山大)・志知龍一(中部大)
- 朴進午・鶴哲郎・高橋成実・堀高峰・小平秀一・仲西理子・三浦誠一・金田義行(海洋センター)
- 栗山都・清水洋・松島健・松本聡(九州大学・理)
- 松本聡・植平賢司・松島健・松尾のり道・清水洋(九大・理)
- 関根秀太郎・瀧澤一起(東大地震研)・趙大鵬(愛媛大)
- 鄭泰雄(世宗大)・佐藤春夫(東北大)
- 飯高隆、岩崎貴哉(東大・地震研)、吉本和生(東北大・理)
- Serrano, I.(Ehime Uni. and Granada Uni.), Zhao, D. (Ehime Un.), Bohoyo, F. (Granada Uni.), Ga
- チャダラム シバジ、西澤 修(地質調査所)
- 西澤 修(地質調査所)、吉野 隆(東洋大)、金川 久一、安永 健太郎(千葉大)
- 川崎一朗(富山大学理学部)
- 日野亮太・西野実(東北大理)・三浦誠一・鶴哲郎・高橋成実・藤江剛・末広深(JAMSTEC)
- 早川正亮(東大地震研)・笠原順三(東大地震研)・佐藤利典(千葉大・理)・日野亮太(東北大・理)
- 五十嵐俊博・松澤暢・長谷川昭(東北大院・理)
- 上村 彩・笠原順三・篠原雅尚(東大地震研)・日野 亮太(東北大・理)・塩原肇・是沢 定之(
- 木股文昭・平原和朗・藤井直之(名大院理)
- 松村正三(防災科研)
- 堀 高峰・馬場俊孝・カミンス フィル・金田義行(海洋科学技術センター)
- 雷 興林・楠瀬勲一郎・西沢 修・佐藤隆司(地質調査所)
- 西上欽也(京大防災研)・野島断層注水実験グループ
- 永井 悟、平田直(東大防災研)・加納 靖之・水野 高志・西上 欽也(京大・防災研)・田
- 伊藤久男・桑原保人(地質調査所)
- 村上英記(高知大)・橋本武志(京大)・大志直人(京大)・山口 覚(神戸大)
- 小松原 琢・栗田 泰夫(地質調査所)
- 石井 純・中尾 茂(東大震研)・小笠原宏(立命館大理工)南アフリカ金鉱山における半制
- 川方 裕則(地質調査所)、小笠原 宏(立命館大学)、南アフリカ金鉱山における半制御地震研
- 西野敏幸・趙大鵬(愛媛大学)・馬国鳳(台湾中央大学)
- 熊澤峰夫(地震フロンティア サイクル機構)
- 川瀬博(九州大学大学院人間環境学研究院)
- 小山真人(静岡大教育)
- 石橋克彦(神戸大都市安全)
- 松浦充宏(東大理)
- 鷲谷威(地理院)
- 大槻 憲四郎(東大物理学研究科)
- 川勝 均(東京大学地震研究所)
- 本多 了(広島大学大学院理学研究科)
- 稲崎 富士(建設省土木研)
- 南雲秀樹(名大・工)
- 山田雅行・越智三保子(ニュージェック)・香川敬生・趙伯明(地盤研究財団)
- 上林宏敏(大阪工業大・短大部)、堀家正則(大阪工業大・工学部)、竹内吉弘(大阪工業大・
- 石原 齋・齋藤正徳(横浜市立大学)、菊池正幸(東大地震研)

A75	差分法による大規模平野での地震動シミュレーションにおける表層の	° 山田伸之(東工大)・山中浩明(東工大)
A76	表面波速度から推定した国府津-松田断層周辺の地下構造モデルと	° 植竹富一(東京電力), 工藤一嘉(東大地震研)
A77	焼きなまし法による位相速度の逆解析-GAとの性能比較-	° 山中浩明(東工大総合理工)
A78	常時微動群列測定により推定した会津盆地の地下構造	° 成田章(三菱スペース・ソフトウェア株式会社), 木下繁夫(防災科研)
A79	微動アレイ観測による立川断層北部周辺の基盤構造の推定	° 岡崎眞一・吉田武志(日本物理探査機)・山中浩明(東京工業大学)・中山俊雄・中村正明(東)
A80	京都府原地区の微動特性	° 澤田純男(京大防災研) 江尻謙嗣(大林組技研)
A81	空間自己相関法によるトルコ・コジャエリ地震の強震観測点および被	° 工藤一嘉(東京大学地震研究所), 神野達夫(東京大学地震研究所), 岡田廣(北海道大学),
A82	トルコ・コジャエリ地震の被災地における強震動の推定	° 神野達夫(東京大学地震研究所), 工藤一嘉(東京大学地震研究所)
A83	脈動を用いたトルコ・アダパザル周辺の基盤構造調査	° 盛川 仁(鳥取土木)・° 赤松純平・澤田純男(京大防災研)
A84	トルコ・アダパザル市における表層地盤の速度構造調査	° 山田浩二(阪神コンサルタンツ), 香川敬生(地盤研究財団), 澤田純男(京大防災研), 規矩
B会場		
11月20日 午前		
B01	1945年三河地震の強震動記録の収集と解析	° 岡本竜一郎(京大理)・中西一郎(京大理)
B02	宮城県沖で発生したプレート境界巨大地震の震源過程と強震動 一東	° 加藤研一・武村雅之(鹿島小堀研究室)
B03	地表面における断層変位の発生特性(3)	° 堀宗朗, 中川英則(東京大学地震研究所)
B04	関東地方で発生した地震のスケーリング則	° 大池 美保((株)アカシ・サイズモテック)・木下 繁夫(防災科研)
B05	北海道周辺のやや深発地震の高振動数起特性とスケーリング則	° 池田孝・武村雅之・加藤研一(鹿島小堀研)
B06	内陸地震の断層パラメータの相似則(その2)	° 渡辺 史・佐藤 俊明・壇 一男(清水建設和泉研)
B07	各種震源パラメータが広帯域強震動に与える影響について	° 久田嘉章(工学院大学建築学科)
B08	実地震におけるモーメント分布の不均質性	° 池浦友則(鹿島技研)
B09	強震動評価のための不均質断層モデルの主破壊領域の面積とモーメ	° 石井透・佐藤俊明(清水建設株式会社)
B10	断層の非一様すべり破壊モデルから算定される短周期レベルと半経	° 壇一男・渡辺史・佐藤俊明・石井透(清水建設和泉研)
11月20日 午後		
B11	観測記録にみられる短周期地震動の方位依存性 一ほぼ同一の位置	° 中村亮一(東電設計) 八代和彦(東京電力)
B12	震源放射特性の周波数依存性(その2)	° 赤澤隆士・香川敬生(地盤研究財団)
B13	高周波地震動から推定される1997年3月26日鹿児島県北西部地震の	° 中村洋光, 工藤一嘉(東京大学地震研究所)
B14	1995年兵庫県南部地震の特性化震源モデル	° 宮腰研(地盤研究財団)・関口春子(地質調査所) 岩田知孝・入倉孝次郎(京大・防災研) 羽
B15	上部マントルの異常構造が強震動に与える影響	° 前田宜浩・笹谷努(北大理)
B16	兵庫県南部地震による誘発地震のシミュレーション 一震源パラメータ	° 堀家正則(大工大)・川辺秀憲(神戸大工)
B17	兵庫県南部地震による誘発地震のシミュレーション-3次元有限差分	° 川辺秀憲(神戸大工)・堀家正則(大工大)・日下部馨(神戸大工)
B18	1999年台湾・集集地震の震源過程と震源近傍強震動シミュレーション	° 岩田知孝(京大防災研)・関口春子(地質調査所)・入倉孝次郎(京大防災研)
B19	kocaeli(トルコ)地震と集集(台湾)地震の震源断層モデルと広帯域強	° 釜江克宏(京都大学原子炉実験所) 入倉孝次郎(京都大学防災研究所)
B20	1999年台湾集集地震時に宜蘭盆地で励起されたラブ波	° 古村美津子(地震予知振興会)・古村孝志(東大地震研)・温國梁(台湾中央大学)
B21	伊豆諸島群発地震における式根島の震度異常について	° 古村孝志・山中佳子・額継一起・坂上実・高橋正義(東大地震研)
B22	2000年7月15日の地震による新潟若郷地区での地震動強さ	° 翠川三郎・藤本一雄(東京工業大学)
B23	地震記録のシミュレーションによる大阪堆積盆地の3次元地下構造モ	° 趙 伯明 香川敬生 宮腰 研(地盤研究財団)
B24	K-NETデータを用いた東北地方のサイト増幅特性	° 小久江洋輔(三菱スペース・ソフトウェア)・木下繁夫(防災科学技術研究所)
B25	加速度記録による変位への積分方法について	° 小鷹文方・箕輪親宏(防災研)
B26	振動台による傾斜を考慮した強震記録の再現性	° 豊嶋学(東急建設(株))・箕輪親宏・坂田正治(防災科研)・大木洋司(東京工業大学)
11月21日 午前		
B27	地震被害の直後推定にはどんな震源モデルが必要か?—1995年兵	° 畑山健・座間信作(消防研)
B28	地形分類図のデジタル化及びそれを用いた表層地盤の面的な増幅率	° 柴山明寛・久保 智弘・久田嘉章(工学院大学建築学科)大井昌弘・中山圭子・石田瑞穂(防)
B29	リアルタイム地震動推定システムの開発(1)	° 大井昌弘・石田瑞穂・中山圭子・山本俊六(防災科研), 柴山明寛・久保 智弘・久田嘉章(工)
B30	震後「余命特性曲線」の試算(2) —1985メキシコ地震の場合の一	° 太田裕・小山真紀(東濃地震科研)
B31	地震防災対応力の県・市町村別比較調査(1)—岐阜県の場合一	° 小山真紀・太田裕(東濃地震科研)・高井博雄(名大院工)・久世益充(岐大院工)
B32	地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究	° 入倉孝次郎(京都大学防災研究所)
B33	地球外核における有限の剛性率について	° 坪井誠司・齋藤正徳(横浜市大理工)
B34	2次元ランダム媒質を伝播するスカラー波のエンベロープモデル	° 齊藤竜彦・佐藤春夫(東北大・理)・Michael Fehler (Los Alamos National Lab.)・大竹政和(東)
B35	地震波散乱問題における積分方程式のウエーブレットを用いた解法	° 竹中博士(九大院理学研究院)・藤原広行(防災科研)
B36	多数分布したクラック群による3次元弾性波散乱問題の高速解法	° 藤原広行(防災科研)・安藤知明・仲間豊(富士総研)
B37	群遅延時間の分散のスペクトルによる位相のモデル化(その10)ラン	° 盛川仁(鳥取大) 澤田純男 土岐憲三(京大) 川崎久仁生(愛知県庁)
B38	確率有限要素法による不確定性を有する媒質における波動伝播解析	° 本田利器(京大防災研)
11月21日 午後		
B39	中国・四国西端から九州にかけての深発地震面の形状と発震機構	° 清水 洋・植平賢司(九大理)・後藤和彦(鹿児島大理工)
B40	南九州における稍深発地震面の形状と発震機構	° 後藤和彦(鹿児島大)・本田貴子(南之郷中)・八木原寛・角田寿喜(鹿児島大)・清水洋(九州)
B41	奄美大島付近の微小地震活動	° 森脇 健(鹿児島大理工)・後藤和彦・八木原寛・平野舟一郎・角田寿喜(鹿児島大理工)
B42	九州と四国間のフィリピン海スラブはどのようになっているのか	° 中村美加子(愛媛大学)・趙大鵬(愛媛大学)
B43	地震トモグラフィによる台湾周辺最上部マントルの概略構造 一東	° 鈴木貞臣(九大理)・ホセインサデギ(フェルドウシ大)
B44	海半球ネットワーク広帯域地震データの特長	° 竹内 希(東大震研), 坪井誠司(横浜市大理工), 綿田辰吾(東大震研), 深尾良夫(東大震研)
B45	東海・関東下のフィリピン海スラブの形態と地震活動	° 吉田明夫・原田智史・高山博之(気象研)・細野耕司・吉川一光・上野 寛(気象庁)
B46	関東地域のスラブ接触域と火山フロントとの関係	° 野口伸一(防災科研)
B47	中部地方におけるフィリピン海スラブの形状:ブロック構造とスラブの剥	° 山崎文人・大井田徹・平原和朗(名大理)
B48	巨大地震発生域の構造と地震活動:これまでの成果と今後の計画	° 金田義行(JAMSTEC)・海底下深部構造フロンティア(JAMSTEC)
B49	1999年海陸統合地震探査で明らかになった紀南海山列の沈み込みと	° 小平秀一(海洋科学技術センター)・蔵下英司(東大)・徳永雅子(日大)・高橋成実・仲西理-
B50	構造探査および地震活動をj用いて推定したフィリピン海プレートの形状	° 馬場俊孝(JAMSTEC)・堀高峰(JAMSTEC)・カミンズ フィル(JAMSTEC)・亀山真典(JAMSTE
B51	レシーバ関数解析による四国周辺部の地殻およびスラブ構造	° 澁谷拓郎(京大防災研)・多田明希子・平原和朗(名大理)
B52	四国およびその周辺におけるフィリピン海プレート上面の構造	° 大倉敬宏(京大総入)
B53	沈み込むフィリピン海プレートの先端はどこまで達しているか?: High	° 中西一郎, ° 本多茂喜(京大理)
B54	西南日本下のフィリピン海スラブの形状	° 石川有三(気象研究所)
B55	フィリピン海スラブの脱水と地震(1)スラブの温度構造, 岩石学, 地震	° 瀬野徹三(東大震研)・趙大鵬(愛媛大理)・小林洋二(筑波大地球)・中村正夫(東大震研和
B56	フィリピン海プレート上面又は内部で起きた可能性のある 歴史地震:	° 中西一郎(京大理)・中村操(早大理工)
11月22日 午前		
B57	ベクトル型3次元加藤・平澤モデル	° 黒木英州・伊藤秀美・吉田明夫(気象研究所)
B58	摩擦構成則に基づく不均質粘弾性媒質中における 地震サイクルFEM	° 平原和朗(名大理)
B59	粘弾性を考慮した1自由度バネ・ダッシュポット・質点系による地震サ	° 光井能麻・平原和朗(名大理)
B60	地震発生及び地震波伝播予測のための有限要素法並列ソフトウェア	° 本間高弘(富士総合研究所)・Huilin XING・宮村倫司(理化学研究所)・金井崇(慶應大環境情
B61	地震サイクルの物理モデリングと断層構成関係の時間発展	° 橋本千尋・松浦充宏(東大理)
B62	不均質な応力場における破壊伝播速度の遷移	° 福山英一(防災科研)・キム B. オルセン(UC サンタバーバラ)
B63	不連続な断層での地震の破壊伝播: 波形インバージョンで推定される	° 久家慶子(京大理)・加瀬祐子(京大防災研)
B64	動的破壊パラメータの推定を用いて断層モデルを求める: 2つの直角	° 加瀬祐子(京大防災研)・久家慶子(京大理)
B65	熱と変形の相互作用からみた摩擦構成則の一解釈	° 亀山真典(JAMSTEC)・堀高峰(JAMSTEC)・カミンズフィル(JAMSTEC)・平野聡(JAMSTEC)・馬
B66	Thermal pressurization からmeltingにスイッチする地震性摩擦すべり	° 門澤伸昭・大槻憲四郎(東北大学大学院理学研究科)
B67	Stick-slip実験では普通に溶融層ができる!	° 豊田宗則・大槻憲四郎(東北大学大学院理学研究科)
B68	流体移動に伴う余震の発生	° 山下輝夫(東大震研)
B69	Modeling of characteristic earthquakes: How many degrees of freed	° Vladimir B.RYABOV(函館未来大学)・Toru OUCHI(神戸大都市安全)
B70	地震発生場と震源断層モデル	° 大内徹(神戸大都市安全)・Ryabov.V.B.(函館未来大複雑)・林愛明(静岡大理)・伊藤潔(京)

11月22日 午後

- B71 断層集団のフラクタルサイズ分布とフラクタルな空間分布の統一
- B72 震源域ごく近傍におけるポアホール観測によって得られた微小地震
- B73 小地震の震源過程とスケールリング
- B74 1998年伊豆半島東方沖群発地震とダイク成長モデル - 精密震源の
- B75 伊豆半島東方沖群発地震と潮汐荷重
- B76 2000年有珠山噴火活動時に観測された特異な地震波
- B77 岩手山の深部低周波地震のスペクトル比によるモーメントテンソル
- B78 エンベロープ・インバージョンによる1999年台湾集集地震の高周波
- B79 1999年台湾集集地震の初期破壊過程
- B80 三宅島雄山の仮想山体崩壊による津波のシミュレーション
- B81 数値実験で調べた2000年7月1日神津島小津波
- B82 1999年11月26日バスマツ地震の遠地地震波及び津波の解析
- B83 男鹿半島における津波の屈折効果
- B84 1993年北海道南西沖地震の津波波源域における地殻変動解析
- B85 十勝沿岸地域の最新巨大津波は1611慶長三陸地震津波か:とくに発

- °後藤和久(東大理)・大槻憲四郎(東北大理)
- °伊藤 忍(地調), 伊藤 久男(地調), William L. Ellsworth(USGS), Stephanie G. Prejean(Stanfor
- °今西和俊(地質調査所)・武尾実(地震研究所)・松澤孝紀(地震研究所)・伊藤久男(地質調
- °林能成・森田裕一・酒井慎一(東大地震研)
- °青木陽介、加藤照之(東京大学地震研究所)
- °吉田邦一・柳昌義・大島弘光・田村慎・笹谷努(北大理)
- °中道治久・浜口博之・長谷川昭(東北大理)
- °渡邊理恵子・中原恒・佐藤春夫・大竹政和(東北大理)
- °James Mori, Kuo-Fong Ma
- °小池信昭・今村文彦(東北大工)
- °阿部邦昭(日歯大新潟短大)
- °谷岡勇市郎(気象研究所)
- °羽島徳太郎
- °青柳恭平・阿部信太郎(電力中央研究所・地質部)
- °平川一臣(北大)・中村有吾(北大・院)

C会場

11月20日 午前

- C01 太平洋で発生した津波地震の分布
- C02 1995年兵庫南部地震の前のマウスの概日リズムと電磁パルス照射
- C03 地震前兆現象の電磁再現実験
- C04 地震前兆現象の先行時間・理論と解析
- C05 神津島近海の地震(2000年7月1日 M6.4)に伴う電磁現象について
- C06 湯河原観測点の歪・地下水連続観測に見られる最近の変化傾向
- C07 結晶粒間超薄膜水の電気的物性の数値シミュレーション
- C08 トルコでの地震前兆観測の提案
- C09 中規模地震前の微小地震活動変化一関東地域の地震について一
- C10 地震の確率予報 - 地震予知の研究および実践のために -

- °渡邊偉夫
- °横井佐代子・山中千博・池谷元何(阪大院理) 八木健・永井克也(阪大蛋白研)
- °池谷元何・浅原裕・佐藤英夫(阪大理)
- °浅原裕・山中千博・池谷元何(阪大理)
- °井筒潤(京大理)・山田聡治(勝島製作所)・尾池和夫(京大理)
- °吉川澄夫・山本剛晴・小林昭夫(気象研)・内藤宏人(札幌管区气象台)・島村英紀(北大)・古
- °佐久間博(東北大)・河村雄行(東工大)・大槻憲四郎(東北大)
- °高橋耕三(なし)・藤藤幸雄(防災科研)・Salih BAYRAKTUTAN(ERC)
- °井元政二郎(防災科研)
- °佃 為成(東大地震研究所)

11月20日 午後

- C11 阿寺活断層ドリリング(III)一川上・福岡地域の重力構造一
- C12 阿寺活断層ドリリング(IV)一川上・福岡における地殻熱流量測定一
- C13 糸魚川静岡構造線活断層系中部・富士見地域一における断層の地下
- C14 木津川断層系の古地震調査(第2次):島ヶ原断層の最新活動時期と
- C15 愛媛県伊予市における中央構造線活断層系米湊断層および本郡断
- C16 愛媛県伊予市における中央構造線活断層系本郡断層の活動履歴調
- C17 福井県大野盆地木落断層の活動履歴
- C18 北海道西方沖の活断層と地震空白域(1)奥尻海嶺北部の活断層
- C19 北海道西方沖の活断層と地震空白域(2)潜航調査からみた1940年積
- C20 北海道西方沖の活断層と地震空白域(3)積丹半島一宗谷海峡の活
- C21 イベント堆積物によって明らかにされた、千島海溝沿岸域における巨
- C22 活断層から発生する地震の規模についての再検討
- C23 歴史地震の震源域位置および規模の系統的再検討一第2報一(1586
- C24 1923年関東地震による被害データ間の差異の解釈
- C25 地震による木造家屋被害の復元と解析一1927年北丹後地震・1930
- C26 1918年大町地震および1964年新潟地震の断層運動
- C27 少数データによる地震危険度の推定
- C28 「日本列島のテクトニックモデル」による京浜地震、中央構造線超巨大

- °池田隆司・小村健太郎・飯尾能久(防災科研)・千葉明彦・水落幸広・菊池晃・上原大二郎(住
- °小村健太郎・池田隆司(防災科研)・飯尾能久(東大地震研)
- °松多信尚・池田安隆(東大理)・今泉俊文(山梨大)・東郷正美(法政大)・佐藤比呂志(東大震
- °苅谷愛彦(千葉大)・宮地良典(地調)・水野清秀(地調大阪七)・川邊孝幸(山形大)・井村隆夫
- °長谷川修一(香大工)・池田倫治(樺四国総研)・大野裕記(四国電力(株))・岡田篤正(京大理)
- °池田倫治(樺四国総研)・長谷川修一(香大工)・大野裕記(四国電力(株))・岡田篤正(京大理)
- °山本博文(福井大学教育)
- °岡村行信・荒井晃作・倉本真一(地質調査所)
- °佐竹健治・岡村行信・荒井晃作・池原 研(地質調査所)
- °荒井晃作・岡村行信・倉本真一・池原 研・佐竹健治(地質調査所)
- °七山 太・佐竹健治・下川浩一・古川竜太(地質調査所)・牧野彰人(明治コンサルタント(株))
- °金田平太郎(京大・理)
- °松浦 律子・唐鎌 郁夫(財)地震予知総合研究振興会)・中村 操(防災情報サ)
- °武村雅之・諸井孝文(鹿島小堀研究室)
- °藤巻啓子・山崎晴雄(都立大理)
- °河内 一男(新潟県立西新発田高等学校)
- °尾形良彦(統計数理研究所)
- °正村史朗(総合科学研究所)

11月21日 午前

- C29 東南海トラフにおける BSR の特徴について
- C30 アスベリティ接触の動力学 4. スクラッチングのモデル化
- C31 高封圧下における花崗岩の強度の温度変化について
- C32 内陸大地震の始まりの解明に向けて
- C33 高温熱水条件石英ガウジの圧力溶解一カタレーシス相互作用に起
- C34 地表に露出するかつての震源域の物質科学的解析一畑川破砕帯を
- C35 断層帯における流動・摩擦すべりの競合 - 物質解析に基づくよりリア
- C36 断層深部におけるすべり過程のモデル化一摩擦とべき乗クリーブが競
- C37 陸域深部地震発生帯における下部地殻の流体と延性剪断帯の役割
- C38 長町一利府断層周辺域における高サンプリング地震観測
- C39 Temperature Distribution in the Crust Inferred from Heat Flow and
- C40 断層物質を考慮した高温高圧下での摩擦すべり・変形・流動実験

- °酒井明男(石油資源開発)
- °岡直人(横浜市大)・鈴木晃弘(日立ソフトウェア・エンジニアリング)
- °島田充彦(京大防災研)
- °飯尾 能久(東大地震研)・小林 洋二(筑波大学)
- °金川久一(千葉大理)・Stephen F. COX・Shuqing ZHANG (ANU)
- °藤本光一郎・大谷具幸・宮下由香里(地質調査所)・重松紀生(早大)・田中秀実(愛媛大)・富
- °田中秀実(愛媛大)
- °芝崎文一郎(建築研)・田中秀実(愛媛大)・飯尾能久(東大地震研)・増田幸治・桑原保人(1
- °芳野 謙(東京大学地震研究所)
- °堀内茂木1・根岸弘明1・内田 淳2・森安貞夫2・口石雅弘2 長谷川昭3・海野徳仁3・松澤 暢
- °田中明子(地質調査所) 吉田武義(東北大理学研究科)
- °増田幸治・藤本光一郎(地質調査所)

11月21日 午後

- C41 海底地殻変動観測システム一kinematic GPSによる船位測定の精度
- C42 海底地殻変動観測システムの開発(1):長基線Kinematic GPSの位置
- C43 海底地殻変動観測システムの開発(2)音響測距測定誤差の定量的評
- C44 海底地殻変動観測システムの開発:(3)実測例
- C45 海底測地技術の開発と熊野トラフにおける長期観測
- C46 1998年4月伊豆半島東部群発地震活動時の地殻変動モデル
- C47 西南日本の地殻変動場と中央構造線の運動様式 - GPS稠密トラバー
- C48 東北日本における歪蓄積速度の季節変動について
- C49 3次元有限要素法を用いた日本列島の変位場のモデル化(その2)
- C50 測地観測網による異常地殻変動の検出可能性
- C51 日本列島のテクトニクスに関する数値モデリング(1)
- C52 GeoFEMによる東北日本の地震サイクルモデリング
- C53 GPS連続観測から推定された西南日本の定常的地殻変動場と その
- C54 GPSデータから見た伊豆一銭洲ブロックの運動と二重沈み込み帯
- C55 海底地殻変動観測が巨大地震発生予測に果たす役割
- C56 Tectonic Significance of Potential Energy Change by Earthquakes
- C57 南極周辺海域における20年間の地殻熱流量測定結果

- °三浦 哲・藤本博巳・日野亮太・村上栄寿・佐竹義美・西野 実・桑野亜佐子・伊藤亜妃(東北大
- °佐藤一敏・山田卓司(京大理)・田所敬一・安藤雅孝・平原和朗・林宏和・Bambang SETYADJ
- °山田卓司(京大・理)・田所敬一(名大・地震火山)・佐藤一敏(京大・理)・安藤雅孝(名大・地震火山
- °田所敬一(名大)・山田卓司・佐藤一敏(京大)・安藤雅孝(名大)・片尾 浩・松尾成光・平野滯
- °浅田 昭(東大生研)・矢吹哲一朗(水路部)
- °中尾 茂(東大地震研)・森田裕一(東大地震研)・林能成(東大地震研)
- °恵口泰秀・田部井隆雄・高谷卓司(高知大理)・橋本学・細善信・大谷文夫(京大防災研)・大
- °日置幸介(国立天文台)
- °小竹美子・加藤照之(東大地震研)
- °宮崎真一(国土地理院)・Paul SEGALL (Stanford University)
- °里嘉千茂(学芸大教育)・Peter BIRD(UCLA)
- °水藤尚(名大理)・飯塚幹夫(RIST)・平原和朗(名大理)
- °宮下 芳(茨城大理)・李 建新(DXアンテナ)・河内 崇(警察庁)
- °田部井隆雄(高知大理)・瀬川爾朗(東海大海洋)・木股文昭(名大理)
- °安藤雅孝・田所敬一・藤井直之・山田功夫・山岡耕春、(名大)山田卓司・佐藤一敏(京大)
- °谷本俊郎・テラ=ファビア(UC Santa Barbara)・岡元太郎(東京工業大学)
- °上嶋正人(石油公団)・石原文実・中嶋健・杉山和弘(地質調査所)・土田邦博・加藤文人(石)

11月22日 午前

- C58 全マントル地震波トモグラフィ一(2)
- C59 内核の異方性の水平方向不均質
- C60 マントル遷移層不連続面における密度変化量の地震学的推定
- C61 中国四川・雲南地域の3次元地殻一上部マントル構造と地震・火山活
- C62 インドネシアにおける島弧マグマとスラブの深部構造
- C63 P-S変換波から推定したインドネシア下におけるマントル遷移層不連
- C64 遠地震の走時残差から見た日本列島下の不均質構造

- °趙 大鵬(愛媛大学)
- °一瀬建日・中西一郎(京大理)
- °加藤 護・川勝 均(東大地震研)
- °黄金莉(中国地震局)・鄭 斯華(中国地震局) 趙 大鵬 (愛媛大学)
- °浅森浩一・趙大鵬(愛媛大学)・大滝壽樹(地質調査所)・神定健二(気象研究所)
- °三田 亮平・趙 大鵬(愛媛大学)・大滝 壽樹(地質調査所)・神定 健二(気象研究所)
- °趙智富美子(愛媛大学)・趙大鵬(愛媛大学)

C65	東北日本弧におけるプレートの沈み込みに関係したマグマの生成とそ	° 中島淳一(東北大)・Max Wyss(アラスカ大)・長谷川 昭(東北大)
C66	レシーバー関数による東北地方の地殻・最上部マントル構造	° 宗田靖恵・松澤暢・長谷川昭(東北大院・理)
C67	上部・下部マントル境界での対流結合様式について	° 三留幸雄・吉岡祥一(九大)
C68	沈み込むスラブの応力場から推定される上部マントルと下部マントル	° 新田馨・吉岡祥一(九大)・中久喜伴益(広大理)
C69	部分熔融物質の弾性波速度と $V_p/V_s$ 比	° 武井康子(東大地震研)
11月22日午後		
C70	東北日本下の太平洋スラブ内に発生する地震の空間分布	° 細野耕司(気象庁地震予知情報課)・吉田明夫(気象研)
C71	能登半島周辺及び北陸地方の最近の地震活動	° 和田博夫・伊藤 潔・竹内文朗・平野憲雄(京都大学防災研究所) 岡本拓夫(福井工業高等)
C72	この所やや活発な四国東部の浅発地震活動 — 99.7~'00.7の活動	° 許斐 直・近藤 和男(京都大学防災研)
C73	熊本県中部・日奈久断層北端付近の地震活動	° 植平賢司・松尾のり道・松島 健・松本 聡・内田和也・福井理作・栗山 都・清水 洋(九大理)
C74	Temporal change in b-value and an occurrence of large earthquake	° Wahyu Triyoso and Kunihiko Shimazaki
C75	地震活動の確率セルオートマタモデルと遺伝的アルゴリズム	° 平田隆幸(福井大学 工学部 知能システム工学科)
C76	A model based method alternative to declusterig for estimating the b	° Jiansang Zhuang (Department of Statistical Science, the Graduate University for Advanced
C77	地球潮汐による地震のトリガー現象とその地震規模依存性	° 田中佐千子・大竹政和・佐藤春夫(東北大・理)
C78	回転成分地震計による有珠火山地震の観測一回転成分振幅と並進	° 森谷武男(北大理), ローマン テセイヤー(地球物理研究所・フルンシャフ), 松原わかかな(北大)
C79	広帯域地震計のセルフノイズ評価	° 井上公(防災科研)・山本俊六(地震予知振興会)
C80	ICA(Independent Component Analysis)の地震波への適用	° 川崎宣昭・山崎謙介(東京学芸大学大学院)
C81	三次元振動台による地震計の精密検定(序報)	° 國友孝洋(JNC)・梅田章(計量研)・熊澤峰夫(JNC)・飯岡比呂志・尾原隆正・福島博博(IMV(株)
C82	負帰還型地震計検定台の試作	° 青木 治三・大久保 慎人(東濃地震科学研究所)
C83	波数-周波数スペクトルで見た常時自由振動	° 西田究(東大地震研)・深尾良夫(東大地震研)・小林直樹(東工大・地感)
C84	レイリー波入射による山の根構造の振動	° 吉田満(東大震研)
C85	遠地地震解析による南極大陸縁辺部のS波構造	° 金尾政紀(極地研)・渋谷拓郎(京大)・久保篤規(防災科研)
C86	長野県西部地域におけるQの推定と、小地震の地震波エネルギー	° 松澤 孝紀・武尾 実・井出 哲・飯尾 能久(東大地震研)・今西 和俊(地調)・関口 涉次・
C87	阿蘇の火山性微動の震源決定	° 高木憲朗(東工大)・金嶋聡(東工大)

ポスター

P001	高次ボルン近似による間接境界要素法の疎行列近似解の精度の改	° 横井俊明
P002	境界積分法を用いた3次元地震波散乱の波形合成	° 蓬田 清(北大・理) R. Benites (IGNS, N.Z.)
P003	ノード間に不連続のある媒質における理論波形計算の最適演算子の	° 水谷宏光(東大理) グラーロバート(東大理) 竹内希(東大地震研)
P004	Hi-net(1):概要	° 岡田義光・笠原敬司・堀貞喜・小原一成・青井真(防災科研)
P005	Hi-net(2):地震観測施設の整備	° 笠原敬司・岡田義光(防災科研)・山本明(地震予知振興会)
P006	Hi-net(3):高感度地震データの収集・処理・公開	° 小原 一成・堀 貞喜・笠原敬司(防災科学技術研究所)
P007	Hi-net(4):基盤強震観測網(KiK-net)	° 青井 真・堀 貞喜・笠原敬司(防災科学技術研究所)
P008	Hi-net(5):KiK-netで観測されるSP変換波	° 青井 真・笠原敬司(防災科学技術研究所)
P009	Hi-net(6):高感度地震観測網掘削孔における温度測定	° 松本拓己・笠原敬司(防災科学技術研究所)
P010	永久磁石の磁気浮上を併用した地震計用振り子の開発	° 大竹雄次(東大地震研)
P011	干渉型光ファイバセンサによる海底地震観測	° 新藤雄吾・吉川隆・土橋孝治(沖電気)・三ヶ田均(JAMSTEC)
P012	2段階トリガ判定方式 — 低消費電力レコーダの開発 —	° 山内常生(名大院理)・本橋憲三(近計システム)・山成清二(近計システム)
P013	精密簡便な実用的地震計検定装置の考案と実験	° 國友孝洋・熊澤峰夫・鶴我佳代子(JNC東濃地科学センター)
P014	海半球ネットワーク海底孔内地震観測所WP-2 — 北西太平洋OD	° 金沢敏彦・篠原雅尚・望月将志(東大地震研)・荒木英一郎・平田賢治・三ヶ田均・末広潔(J)
P015	走査型地震検出法(2)	° 中川茂樹・平田直(東大地震研)
P016	差分法による三次元粘弾性波動場計算(その2) — 地震震源の導入と	° 林 宏一・引間 和人(応用地質株式会社)
P017	地震情報全文検索システムの開発(2)	° 鶴岡 弘(東大地震研)
P018	岩手山西部での重力モニタリング	° 杉原光彦・須藤 茂(地質調査所)
P019	2000年有珠山噴火時の重力測定	° 小川順二・蓬田清・森谷武男・高田真秀・一柳昌義(北大理)・古屋正人(東大地震研)
P020	1995年兵庫県南部地震の余効変動における地下水移動の寄与	° 向井厚志(産大)・藤森邦夫(京大院理)
P021	GPSネットワークを利用した地殻変動モニタの構想と現状	° 小国健二・堀宗朗・加藤照之・飯沼卓史(東京大学地震研究所)
P022	高速サンプリングGPS観測システム	° 三浦 哲・佐藤俊也・立花憲司(東北大学大学院理学研究科)
P023	1995年兵庫県南部地震の震源断層周辺の現在の歪場(2)	° 桑原保人・伊藤久男(地質調査所)
P024	淡路島800mポータルPIRLOの開放と密閉における潮汐ひずみ変化	° 藤森邦夫(京大院理)・向井厚志(産大)
P025	TILT EXPERIMENT FROM TO AUGUST 17,1999. IZMIT EARTHQU	° NUR UMUTLU (GDDA.EARTHQUAKE RESEARCH DEPARTMENT)
P026	マニラ首都圏・マリキナ断層系における重力探査	° 山崎文人(名大理)・志知龍一(中部大工)・正木和明(愛工大)・Ishmael C. NARAG(フィリ
P027	山崎断層での重力測定と数kmまでの浅い構造の推定	° 竹内文朗・中村佳重郎・渡辺邦彦・松村一男(京大防)・河野芳輝(金沢大理)・駒澤正夫(地)
P028	中部日本の速度場を読み解く	° 日置幸介(国立天文台)・宮崎真一(国土地理院)
P029	1996年日向灘の地震の余効変動と豊後水道の非地震性すべりにつ	° 西村 宗(京大防災研) 安藤 雅孝(名古屋大理) 橋本 学(京大防災研) 宮崎 真一(国土地理
P030	GeoFEM粘弾性モジュールによる西南日本の地震サイクルモデリング	° 兵藤守・平原和朗(名大理)・飯塚幹夫(財)RIST)
P031	Four year geomagnetic survey data by R/V Kairei around Japan Tre	° 木戸ゆかり・海底下深部構造フロンティアグループ、「かいいい」乗船研究者(海洋センター)
P032	海底地形から見た琉球—西南日本弧会合部の前弧ウエッジ変形	° 吉田 剛・加藤 幸弘・加藤 茂(海上保安庁水路部)
P033	南西沖繩トラフの海底地形と熱水活動	° 中村衛・新城竜一・大森保(琉球大理)・松本剛(海洋科学技術センター)・木下正高(東海大)
P034	地震から見た台湾付近のテクトニクス	° 伊藤智憲・古本宗充(金沢大理)
P035	Regional Gravitational Energy Change by Earthquakes at California, U	° 岡元太郎(東京工業大学)・谷本俊郎(UC Santa Barbara)
P036	Three-Dimensional Dynamic Responses of Localized Thermal Anom	° 江口孝雄(防衛大)・松原 聖(富士総研)・石田瑞穂(防災科研)
P037	北海道東北部における広角反射・屈折波観測	° 森谷武男(北大理)・宮町宏樹(鹿児島大理)・和田直人・大塚健・平貴昭(以上北大理)・平
P038	北海道日高衝突帯前縁帯における高密度地殻構造探査	° 爆破地震動研究グループ(発表者) 岩崎貴哉)
P039	日本海沿岸・褶曲帯における反射法地震探査	° 阿部信太郎(電力中央研究所・地質部)
P040	秋田・山形県境沖の地震(1999年2月26日、M5. 1)について—断	° 長谷見晶子・瀧澤薫(山形大理)・堀修一郎・海野徳仁・長谷川昭(東北大予知)
P041	サブダクション境界におけるすべりの様相(日本海溝三陸沖)	° 南雲昭三郎(応用地質(株))・鶴哲郎(海洋セタ)
P042	日本海溝・福島沖大陸斜面における斜面変動と浅部地殻構造	° 加藤幸弘・小笠原祥平・登崎隆志(水路部)
P043	人工地震による1999年伊豆大島火山の構造探査:基礎解析	° 及川 純・渡辺秀文・松下誠司(東大・地震研) 松島 健・栗山 都(九大・理) 戸松稔貴(名大)
P044	平塚-裾野測線の地下構造(その1) — 平成12年1月15日の人工地	° 棚田 俊收・小田義也(神奈川県温泉地学研究所)
P045	恵那山断層オフセット部の地下構造	° 田中俊行・青木治三(東濃地震科研)・大下賢一・野崎京三(応用地質)
P046	地震波トモグラフィとGPS解析から推定した四国地域の地殻構造の	° 池田倫治(柳四国総合研究所)・趙大鵬(愛媛大)・田部井隆雄(高知大)・橋本学(京大防災)
P047	西部南海トラフにおける地震発生帯および付加体の3次元イメージ	° 中村恭之(東大海洋研)・倉本真一(地質調査所)・平朝彦(東大海洋研)・Nathan BANGS(テキサ
P048	海洋科学技術センターおよび石油公団の反射法地震探査データセ	° 平野 聡(海洋科学技術センター)・木戸(仲佐)ゆかり(海洋科学技術センター)・朴 進午(海
P049	海底地震計を用いた九州西方東シナ海における地殻構造(その1)	° 中東和夫(九大理)・篠原雅尚(東大地震研)・鈴木貞臣(九大理)・日野亮太(東北大理)・塩
P050	日本付近のP及びS波の3次元速度構造	° 中村雅基・吉田康宏・黒木英州(気象研)・吉川一光(気象庁)・趙大鵬(愛媛大)・高山博之(気象
P051	屈折法探査データを用いた広角反射法解析(手法の開発と実データへ	° 武田哲也・岩崎貴哉(東大地震研)
P052	P波速度から推定される堆積物のPoisson比	° 東方外志彦・亀山真典・平野聡・宇平幸一・金田義行(海洋科学技術センター)・ODP Leg190
P053	JISNETデータから求めたインドネシア地域における一次元P波速度構	° 中島 倫也(東工大)・金嶋 聡(東工大)・神定 健次(気象研究所)・大滝 壽樹(地質調査所)
P054	multiple-ScS波解析によるシナ海—フィリピン海西部下のマントル遷	° 大滝壽樹(地質調査所)・末次大輔(建築研究所)・神定健二(気象研究所)
P055	レシーバ関数法を用いたインドネシア地域下のマントル遷移層の厚さ	° 齊田智治(九大理)・末次大輔(建築研究所)・竹中博士(九大理)・大滝壽樹(地質調査所)・
P056	Receiver functionで見る日本列島下の地殻・上部マントル地震波速	° 多田明希子・平原和朗(名古屋大学院理学研究科)・渋谷拓郎(京都大学防災研究所)
P057	下部マントル物質の弾性的異方性の分子動力学法による研究	° 浜畑美規・大谷栄治(東北大理)・松井正典(九州大理)
P058	速度・状態依存摩擦係数に基づくslow thrust slip の3次元シミュレ	° 廣瀬仁・平原和朗(名大理)
P059	DFEMプログラムによる破壊核形成過程のシミュレーション	° 朝日寿子(富士総合研究所)・鷲谷威(国土地理院)・吳智深(茨城大・工)
P060	微視的強度回復過程を考慮した断層破砕帯の巨視的特性に関する数	° 藤井義大(東大理)・David Place(Queensland Univ.)・松浦充宏(東大理)

P061	不均質応力場での断層運動—すべり速度時間関数への影響	宮武隆(東大地震研)・中村洋光(東大地震研)
P062	磐梯山で観測された長周期成分を含む火山性微動の解析	西村太志, 植木貞人, 浜口博之
P063	恐山・恵山付近で発生した深部低周波地震	佐藤央教・小菅正裕(弘前大・理工)
P064	神津島・新島付近における強震観測と地震の初期破壊過程	佐藤和彦・James Mori(京大防災研)
P065	国立大学観測網地震カタログ(JUNEC)の現状と今後の展望	鶴岡 弘・鷹野 澄・菊地 正幸(東大地震研)
P066	震源パラメータと地殻構造情報との同時推定とその群発地震、	井出哲(東京大学地震研究所)
P067	横浜市周辺の微小地震活動	牧野 豊・安藤行雄・星川正幸・柳沢昭夫(横浜市消防局)
P068	福井地震の余震分布の海側の深さについて	平野憲雄・伊藤潔・竹内文朗・和田博夫(京大防災研)・岡本拓夫(福井高専)
P069	四国中央部における中央構造線付近の地震活動と起震応力	木村昌三・川谷和夫(高知大地理学)
P070	東北地方の不均質構造(2)	萩原弘子・平田 直・松原 誠(東大震研)
P071	火山体構造探査による3次元速度構造を用いた震源決定 —2000年6	山脇輝夫・西村太志・植木貞人・田中聡・浜口博之(東北大予知セ)
P072	2000年有珠山噴火活動に伴って発生した低周波地震	松原わか・蓬田清(北大理)笠原稔・柳昌義(北大地震火山セ)
P073	茨城県沖の地震にみられる顕著なS波後続波(2)	木村尚紀・笠原敬司(防災科学技術研究所)
P074	山崎断層の微細構造と発震機構から求めた応力分布	高橋繁義・渡辺邦彦(京大防災研)
P075	丹波地域におけるb値の空間分布	荒川浩樹・平松良浩・古本宗充(金沢大・理)・片尾浩(京大防災研)
P076	1995年兵庫県南部地震に先だって現れた前兆的地震活動パターン	黄清華(理研地震国際)・大内徹(神戸大都市安全)・伊藤潔(京大防災研)
P077	Temporal and spatial variations in b-values during the 1998-1999 Hi	Bogdan ENESCU・伊藤 潔(京大・防災研)
P078	箱根地域の地震活動に関連するフラクタル構造の時間変化	村瀬 圭(東海大海洋)・棚田俊收(温泉地学研究所)・塚塚 進(東海大海洋)
P079	周防灘から発見された海底活断層群	森下泰成・加藤幸弘・富田輝勝・田中喜年(海上保安庁水路部)
P080	極浅層反射法探査による活断層のイメージング:千屋断層・富士見断	松多信尚(東大理)・今泉俊文(山梨大)・Thomas Pratt・Robert Williams(USGS)・佐藤比呂志
P081	富山県西部・法林寺断層の活動履歴について—平成11年度破波平	酒井隆太郎(応用地質)・富山県活断層調査委員会
P082	富山県西部・高清水断層の活動履歴について—平成11年度破波平	酒井隆太郎(応用地質)・富山県活断層調査委員会
P083	栃木県・関谷断層の活動履歴調査(速報)	宮下由香里・杉山雄一・山元孝広・吉岡敏和・寒川 旭・穴倉正展(地質調査所)・丸山直樹・
P084	大阪湾断層及び和田岬断層の完新世活動度調査	七山 太・杉山雄一(地質調査所)・北田奈緒子(地域地盤研究所)・竹村恵二(京都大学)・岩
P085	頓宮断層系の更新世後期以降の活動	苅谷愛彦(千葉大)・宮地良典(地調)・水野清秀(地調大阪セ)・川邊孝幸(山形大)・井村隆夫
P086	トルコ北アナトリア断層系, 1999年イズミット・デュズジェ地震断層ト	遠田晋次(東大地震研)・須貝俊彦(東大新領域)・粟田泰夫(地質調査所)・奥村晃史(広島)
P087	トルコ北アナトリア断層系, 1999年11月地震断層エフテニ湖セグメント	須貝俊彦(東大新領域)・遠田晋次(東大地震研)・粟田泰夫(地質調査所)・原口復(復建調)
P088	1999年イズミット地震(Mw 7.4)に伴う地震断層のセグメント構造	粟田泰夫・吉岡敏和(地質調査所)・Omer Emre・Tamer Y. Duman・Ahmet Dogan(トルコ鉱物
P089	地震時に斜面に形成された, 地震断層ではない断層地形	伏島祐一(地質調査所)
P090	活断層から発生する地震の平均再来間隔についての再検討	金田平太郎(京大・理)
P091	岩石の逆圧電効果測定	松田智紀・山中千博・池谷元伺(阪大院理)
P092	断層の電磁気学モデルによるSES強度評価	松本裕史, 平井誠, 池谷元伺
P093	地震発生環境条件下における岩石の破壊構成則の歪み速度依存性	加藤愛太郎・大中康馨・望月裕峰(東大地震研究所)
P094	変形率変化法における応力値の客観的評価法(1)	佐藤凡子・矢部康男・山本清彦・長谷川昭(東北大院・理)
P095	松代群発地震域の湧水の起源と1999年10月29日の地震前後の酸	吉田則夫(防災科学技術研究所)・奥澤保・塚原弘昭(信州大理)
P096	松代群発地震域の湧水の1999年10月29日地震前後のイオン濃度	奥澤保(信州大理)・吉田則夫(防災科学技術研究所)・塚原弘昭(信州大理)
P097	余震の確率予測法の改善	岡田正実(松代地震観)
P098	1923年関東地震の被害資料に基づく東京市の木造住宅全潰率と地	諸井孝文・武村雅之(鹿島小堀研)
P099	地表面における断層変位の発生特性(1)全体計画と地震学的研究	宮武隆(東大地震研)・谷山尚(埼玉大工)・堀宗朗(東大地震研)・田村敬一(土木研)・片岡
P100	地表面における断層変位の発生特性(2)室内模型実験	谷山尚(埼玉大工)
P101	断層上の動力学的破壊モデルパラメタの推定法について	谷山尚(埼玉大工)
P102	断層近傍強震動シミュレーションのための滑り速度時間関数の近似式	宮武隆(東大地震研)・中村洋光(東大地震研)
P103	沈み込み帯に発生する地震の断層パラメタの相似則	渡辺 基史・佐藤 俊明・壇 一男(清水建設和泉研)
P104	強震動予測のための震源特性化の手続き	入倉孝次郎・三宅弘恵(京大防災研)
P105	経験的グリーン関数を用いたエンベロープインバージョンにおける小地	松元康広・岩田知孝・入倉孝次郎(京大防災研)
P106	震源過程が地震波形に与える影響(1)	箕 楽麿(神戸大理)
P107	統計的グリーン関数法におけるグリーン関数遠方項のみを用いる妥当	堀家正則
P108	震源・パス・サイトをConvolution表現した時の振幅のバラツキ	千場充之(気象庁精密地震観測室)
P109	強震動予測のばらつき評価について(その1)	河合伸一・藤原広行(防災科研)
P110	An attenuation relationship accounting for effects of inland crustal, i	John X. ZHAO・Kojiro IRIKURA (DPRI, Kyoto University)
P111	Estimation of Q-values in the seismogenic and aseismic layers in Ki	Anatoly PETUKHIN・Kojiro IRIKURA・Shiro OHMI (DPRI, Kyoto Univ.)
P112	松村組技研観測波に基づく地盤増幅特性および地下構造の推定	大西良広・伊澤清治(松村組)・香川敬生・宮腰研(地盤研究財団)・巽誉樹(関西電力)・羽田
P113	東南海地震を想定した強震動シミュレーション	河合伸一・平原和朗(名大理)・古村孝志(東大地震研究所)
P114	リアルタイム地震動推定システムの開発(2)	大井昌弘・石田瑞穂・中山圭子・山本俊六(防災科研)・柴山明寛・久保 智弘・久田嘉章(工
P115	強震動予測計算システムの開発(その1)	藤原広行(防災科研)・青井真(防災科研)・成田章(三菱スペース・ソフトウェア株式会社)・
P116	階層型数値計算マクロ-ミクロ解析を利用した都市強震動の予測	市村強, 堀宗朗(東京大学地震研究所)
P117	水平成層構造中の有限断層による静的変位(離散波数法を用いて)	本多 亮, 蓬田 清(北海道大学・理・地惑)
P118	Estimation of site quality factor -Coda wave analysis using the Som	MAYORCA Paola(東京大学), 須藤 研(東京大学)
P119	二重スペクトル比法に基づく伊豆地域のQs	東貞成(電中研)
P120	表層地盤の増幅効果 —横浜市高密度強震計ネットワークを用いた	齋藤正徳・坪井誠司(横浜市大理)
P121	不規則地下構造サイトの地震動特性(1)	八木政彦・岩田知孝・入倉孝次郎(京大防災研)・小泉尚嗣(地質調査所)
P122	Estimation of nonlinear time-dependent soil behavior in strong groun	Olga PAVLENKO・Kojiro IRIKURA (DPRI, Kyoto University)
P123	レシビに基づく強震動シミュレーション(2) ~統計的グリーン関数と経	岩田知孝・三宅弘恵・入倉孝次郎(京大防災研)
P124	2000年6月に福井周辺で発生したM4.7, M6.1(JMA)のイベントに関	岡本拓夫, 前澤廣道(福井高専), 長尾年恭(東海大), 田中保士(田中地質コンサル), 渡辺
P125	和歌山市北部で観測される特徴的なフェイズについて	瀬戸憲彦・中村正夫(東大地震研和歌山)・松波孝治(京大防災研)
P126	1999年コロンビア, キンディオ地震における本震および余震の震源	川方 裕則(地質調査所), ネルソン ブリード(理化学研究所), 西上 欽也(京都大学防災研)
P127	1998年3月25日南極地震:氷床後退に伴う可能性—その後の進展—	金尾政紀(極地研)・坪井誠司(横浜市大理)
P128	「ボクの不思議・私の疑問」—メモリアル・コンファレンス・イン・東京—	Memorial Conference in Kobe実行委員会, 橋本学(京大防災研), 池谷元伺(阪大院理), 濱
P129	Simulation of Seismic Wave Propagation in a Laterally Heterogeneous	王 彦賓・竹中博士(九大理)・大林政行・神定健二(気象研究所)
P130	常時地球自由震動の検出	湯山高士・古本宗充(金沢大・理)・須田直樹(広島大・地惑)
P131	二成分励起存否法の極運動解析への応用	横山 由紀子
P132	南海道地震余震域における地震の時空間分布と応力場の関係	中村正夫・瀬戸憲彦(東大地震研和歌山)・木村昌三(高知大理)
P133	地殻下地震データを用いたフィリピン海スラブ上面形状の推定	西村 宗(京大防災研)・安藤 雅孝(名古屋大理)・橋本 学(京大防災研)
P134	駿河・南海トラフ沿いの海底地震計観測	原田智史・吉田康宏・青木元・石川有三(気象研)・中村浩二(気象庁)
P135	フィリピン海横断測線での長期海底地震観測 —速報—	塩原 肇・加藤 護・望月將志・篠原雅尚・金澤敏彦(東大地震研)・米島慎二・望月公廣(東)
P136	フィリピン海横断海底電磁気アレイ観測—海半球ネットワーク	藤 浩明(富山大理), 馬場 聖至(千葉大院自然科学), 歌田 久司(東大地震研), 島 伸和
P137	南海トラフにおける地震発生帯上限付近の微小地震活動	尾島浩一郎・小平秀一・末広深・金田義行(JAMSTEC)・望月公廣(東海海洋研)・篠原雅尚(東)
P138	スラブ内地震と西南日本下に沈み込んでいるフィリピン海プレートの折	カミズ フィル(JAMSTEC)・馬場俊孝(JAMSTEC)・堀高峰(JAMSTEC)・亀山真典(JAMSTE
P139	トモグラフィからみたフィリピン海プレート東端の形状	関口渉次(防災科学技術研究所)
P140	有限波長の効果を考慮した表面波トモグラフィ—フィリピン海にお	中村恭之(東海海洋研)・加藤護(東大地震研)
P141	フィリピン海スラブの脱氷と地震(2)トモグラフィからの証拠	趙 大鵬(愛媛大学)・郎 明慧(愛媛大学)・越智 富美子(愛媛大学)・瀬野 徹三(東京)
P142	JISNETデータを用いたインドネシア付近における表面波位相速度の研	岡部明(東工大)・金嶋聡(東工大)・神定健二(気象研究所)・大滝寿樹(地質調査所)
P143	陸域震源断層周辺におけるGPS稠密連続観測	鷲谷威・西村卓也・多田堯(国土地理院)・三浦哲(東大)
P144	下部地殻内の剪断帯の強度	堀川晴夫(地質調査所)
P145	Earthquake Cycles and Fluid Movement in Fault Models Using Labora	Bunichiro Shibasaki(IISEE, BRI)・Koichiro Fujimoto(GSJ)・Shingo Yoshida(ERI, Tokyo Univ.)・F
P146	地殻変動データの粘弾性インバージョンによる断層すべり時空間分布	鷲谷威(国土地理院)・佐藤利典(千葉大)・橋本千尋(東大理)・南一生(高度情報)・松浦充

P147	東海地域の想定固着域付近における地震活動と地球潮汐	° 松本拓己・松村正三(防災科学技術研究所)
P148	透過波動による震源核検出の試み, 4 - 透過波動のphaseの変化, 2	° 岩佐幸治(地震予知総合研究振興会)・吉岡直人(横浜市立大学)
P149	断層破砕帯が断層の強度にはたす役割	山本清彦・佐藤凡子・° 矢部康男(東北大学・院・理)
P150	野島断層近傍のS波群の偏向異方性の時空間変化	° 磯山博士(茨城大理)・桑原保人(地質調査所)・河原 純(茨城大理)・伊藤久男(地質調査所)
P151	野島断層注水実験高サンプリング地震記録による微小地震の初期破	° 平松良浩1、古本宗充1、西上欽也2、大見士郎2 1金沢大学理学部、2京都大学防災研究所
P152	野島断層注水実験の微小地震観測によるコーナー周波数(fc)のス	° 山中寛志・平松良浩(金沢大理)・田所敬一(名大地震火山)・西上欽也(京大防災研)
P153	野島断層の深部構造 - 破砕帯近傍のボアホール観測点での断層トラ	° 水野 高志・西上 欽也(京大防災研)
P154	野島断層注水実験にともなう大地比抵抗変化の検出	° 山下太・柳谷俊・大志万直人(京大防災研)
P155	野島断層における繰り返し注水試験による淡路島800m孔の湧水量変	° 北川有一(サイクル機構東濃)・藤森邦夫(京大理)・小泉尚嗣(地質調査所)・野津憲治・五十
P156	野島断層繰り返し注水試験前後の地震活動の規模別頻度分布	° 加納靖之(京大防災研)・平松良浩(金沢大理)・田所敬一(名大理)・西上欽也(京大防災研)
P157	野島断層繰り返し注水試験にともなう地震活動のミクロスケールな震	° 田所敬一(名大理)・加納靖之・西上欽也(京大防災研)
P158	水没した山はね鉦山内の地震のトリガー - 旧生野鉦山における多項	° 小笠原 宏(立命大・理工)・藤森邦夫(京大・院理)
P159	雲石盆地で発生した浅部低周波地震の時系列の特徴と震源メカニズ	° 小菅 正裕・千田 良道(弘前大・理工)
P160	長野県西部における多数の微小地震の応力降下量	° 堀内茂木・趙 志新(防災科学技術研究所)・飯尾能久(東京大学地震研究所)
P161	三宅島・神津島・新島近海における海底地震観測	° 西澤あずさ・小野智三・大谷康夫(水路部)・山田知朗・橋本信一・西坂弘正・卜部卓(東大震)
P162	相模湾初島沖深海底総合観測ステーションによる2000年伊豆諸島地	° 岩瀬良一・杉岡裕子(海洋科学技術センター)
P163	2000年神津島・新島・三宅島周辺の地震活動予測の試み	° 山科健一郎(東大地震研)
P164	神津島・式根島・新島GPS観測網により検出された2000年7~8月の	° 木股文昭・奥田隆・宮島力雄(名大院理)・田部井隆雄・恵口泰秀(高知大理)・加藤照之・中尾
P165	2000年三宅島噴火と新島・神津島近海の群発地震活動に伴う地殻変	° 西村卓也、村上 亮、小沢慎三郎、鷺谷 威、矢来博司、多田 堯、海津 優(国土地理院 地)
P166	伊豆諸島群発地震に伴う地殻変動データの時間発展インバージョン解	° 小沢慎三郎、宮崎真一、西村卓也、村上亮、鷺谷威、矢来博司、多田堯、海津優
P167	新島、神津島周辺の地殻変動	° 海津優(国土地理院)
P168	神津島、式根島、新島の変動はなぜ時間変化するのか?	° 飯尾 能久(東大地震研)
P169	三宅島・神津島・新島近海の地震とそのテクトニックな意味	° 石川有 三
P170	神津島東方海域の変動地形とテクトニクス	° 加藤幸弘(水路部)
P171	GPS連続観測で観測された三宅島6月26日マグマ貫入イベント	° 中尾茂(東大地震研)、木股文昭(名古屋大理)、及川純(東大地震研)、渡辺秀文(東大地震
P172	伊豆諸島群発地震の震源域に見られる地震波の減衰異常	° 古村孝志・瀬織一・山中佳子・坂上実・高橋正義(東大地震研)
P173	三宅島で励起されたやや長周期振動のモニタリング	° 石原 靖(横浜市立大学)
P174	三宅島の噴火活動に伴う長周期地震波の解析	° 吉田康宏(気象研)・武尾実(地震研)・宇平幸一(海洋センター)・宮越憲明(気象庁)